

2009

環境社会報告書



CONTENTS

■ 企業理念	3
■ 環境に関する取り組み経過	3
■ 会社概要	4
■ トップコミットメント	5
■ 環境組織	6
■ 環境方針	7
■ 活動指針	7
■ 環境目的・目標	8
■ 環境保全 環境保全活動の効果	10
■ 社会貢献 ボランティア活動	12
■ 安全教育 教育活動	16
■ 社会活動 本業を通じた活動	18
■ 環境技術 採用された工法	20

編集方針

この報告書は、みらい建設工業に関係する皆さんに、みらい建設工業の環境活動をできるだけ分かり易く、正しくお知らせすることを目的として作成しています。

みらい建設工業は、2005年12月に初版として「環境報告書 2005」を発行しました。2010年11月の発行で第5版になります。2005年度は「環境報告書」として発行し2008年度は「環境・社会報告書」と名称を変更し、企業の社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)の視点から報告する範囲を広げました。

みらい建設工業は、社会のインフラ整備を生業とする建設会社の使命として、環境活動の結果を社会の皆様に報告し、今後の環境活動の励みにしたいと考えています。

本報告書を通じて、みらい建設工業の環境・社会活動をご理解頂き、忌憚のないご意見を頂けますようお願い申し上げます。

報告書の対象期間

- ・2008年度/2009年度(2008年4月～2010年3月)
- ・報告書の理解を深めるために、2010年度の写真等を掲載しています。
- ・発行月:2011年3月(次回発行予定:2011年11月)
- ・作成部署:本社安全環境品証部



企業理念

- 経営目標 当社にかかわる多くのステークホルダーに「より高い満足感」を感じてもらえるような、ユニークなグッドカンパニーを目標とする。
- 経営姿勢 経営目標達成のため、よりビッグでよりハイプロフィットな企業を目指す。ただし、自然や社会との共生を計り、不正や不当な手段による社益の追求は勿論、浮利を追うなど利益第一主義に陥ってはならない。
- 存在意義 当社は創意工夫と確かな技術のもと、自然環境の創造と保全に努め、お客様の満足する高品質の製品を提供し、もって社業の発展を通じて社会に貢献することを使命とする C&C*カンパニーである。

*Clean & Creative=環境に優しく創造的な

環境に関する取り組み経過

- 2003年11月 ISO14001 認証取得(本社・9支店、土木構築物の設計・施工、アスファルト合材の製造・販売)
- 2004年12月 ISO14001 定期審査及び、範囲拡大(本社営業本部)
- 2005年12月 ISO14001 定期審査更新審査及び、移行審査(ISO14001:2004)
- 2005年12月 「環境報告書 2005」の発行
- 2006年9月 ISO14001 更新審査及び、統合審査(土木・建築)
- 2006年12月 「環境報告書 2006」の発行
- 2008年4月 ISO14001 定期審査
- 2008年7月 「環境・社会報告書 2007」の発行
- 2009年6月 「環境・社会報告書 2008」の発行
- 2009年7月 ISO14001 更新審査
- 2011年3月 「環境・社会報告書 2009」の発行

2009年度の主な完成工事



白老港土砂処分場B部その他建設工事
(北海道)



茨城港常陸那珂港区東防波堤本体工事
(茨城県)



平成 21年度 堺泉北港堺2区生物共生型
護岸築造工事(大阪府)

会社概要

- 商号 みらい建設工業株式会社
- 本社 〒105-0014 東京都港区芝二丁目 14 番 5 号
- 代表者 代表取締役社長 矢 島 悟 朗
- 資本金 25 億円
- 建設業許可 特定建設業許可 国土交通大臣許可 (特-17) 第 5678 号
産業廃棄物収集運搬許可 大阪市長許可 第 6600109774 号
- 登録 建設コンサルタント登録 国土交通大臣登録(建 21)第 2034 号
測量業者登録 国土交通大臣登録 第(9)-6744 号
宅地建物取引業者登録 東京都知事登録 第(2) 第 81837 号
土壤汚染対策法に基づく指定調査機関登録 環境大臣指定 環 2003-1-232 号
- 認証 ISO19001:2008 JUSE-RA-1437
ISO14001:2004 JUSE-EG-130
- 売上高 344 億円(2009 年度)
- 従業員数 343 名(2010 年 7 月 1 日現在)



トップコミットメント

人と、社会と、地球の“みらい”をカタチに！



2010年9月

代表取締役社長

矢島 悟朗

企業理念の実現に向けて

みらい建設工業は、当社に関係するすべての皆様の期待に沿えるよう、全社員の総力を結集してベクトルを合わせたスピードある挑戦を実行し、会社の発展、そして利害関係者のより良い将来の構築に向けて全力で邁進しています。

みらい建設工業はマリコン業者として海洋土木・港湾工事を数多く施工し、海洋と密接な関係にあり、海洋汚染を防止するために、施工中・給油時に使用船舶等からの油漏洩がないように手順書を作成し、細心の注意を払っています。

また、万が一の事態に備え「緊急事態訓練」を実施し、日々緊急事態に備えています。

2009年度の環境活動について

2007年度に設定した環境目的(2007年度～2009年度の中期目標)は2009年度が最終年度であり、環境目標は概ね達成致しました。全社あげて環境負荷の低減に取り組み、着実に成果を上げてきております。

また、作業所では環境活動に参加したり、工事見学会等を開催することによって、地域のみなさんとのコミュニケーションの機会を増やしています。

環境目的について(2010～2012年度環境目標)

環境マネジメントシステムを導入時点から海洋環境の保全や水質汚染の防止の観点から、環境目標に「油類を漏洩させない」を掲げ、今後も目標として継続していきます。

省資源・リサイクル対策として新たに「建設廃棄物の削減」を目標に掲げ、全工事現場で環境負荷の低減に取り組みます。

環境組織

当社は、ISO14001 によるマネジメントシステムを導入しています。2005 年12 月に本社営業部を加え、全社による認証取得が完了しました。

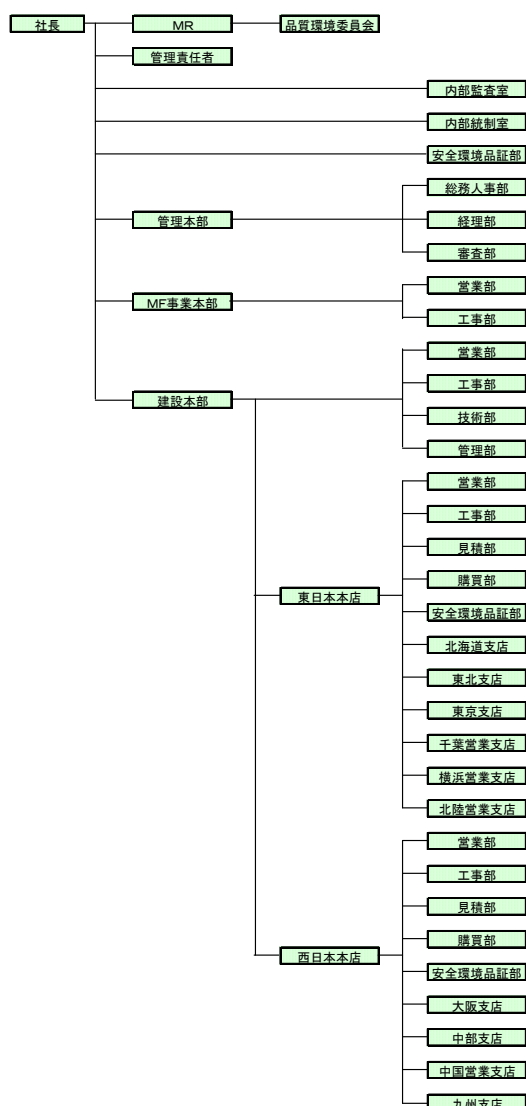
全社認証取得により、環境活動を効果的に実施するために全員参加によるマネジメントシステムを展開して

います。

企業の社会的責任と環境活動をより効果的にするために、組織改正を行い運用しています。

環境マネジメントシステムの更新審査(取得後 6 年目)を終了しました。

環境マネジメントシステム組織図



環境マネジメントシステム活動状況

- ①外部審査
 実施日 : 2009年7月7日~7月9日
 認証登録機関 : (財)日本科学技術連盟
 審査結果 : 軽微な不適合・・・0件
 重大な不適合・・・0件
- ②内部監査
 実施日 : 2010年3月3日~3月25日
 総監査数 : 9件
 監査結果 : 軽欠点…………… 9件
 重欠点…………… 0件



環境方針

みらい建設工業は、環境を大切に守り、また共生・再生をしながら確かな技術で環境に優しく創造的な企業をめざす

活動指針

1. ISO14001 に準拠した環境マネジメントシステムを確立し、運用し、継続的に改善します。
2. 環境に関連する法規制および当社が同意するその他の要求事項を明確にして順守します。
3. 環境への取り組み
 - (1)環境負荷の低減及び汚染の防止のために、以下の活動項目を定めます。
 - ①省資源・省エネルギー・グリーン購入に努めます。
 - ②建設副産物の発生の抑制、再利用の促進、リサイクルの推進、適正処理に努めます。
 - ③油類の漏洩、流出防止及び海上・河川の濁りの防止に努めます。
 - ④地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量の低減に努めます。
 - ⑤土壌汚染の防止に努めます。
 - (2)より良い環境の推進に努めます。
 - ①環境に関する保有技術を積極的に活用し、有効な技術の開発を進めます。
 - ②環境にやさしい企画、設計(提案含む)、施工を実施します。
4. 地域住民との密接なコミュニケーションを図り、地域の環境保全に取り組みます。
5. 環境意識を高めるための教育を行います。
6. 環境方針を一般の人々に公開します。

環境目的・目標

2008年度～2009年度の活動結果を報告します。

活動項目	目的	
	目的	到達点(2009年度目標)
<p>省資源・省エネルギー・グリーン購入</p> 	<p>①コピー用紙の購入量の削減 (無駄な消費の撤廃)</p> <p>②グリーン購入の推進</p>	<p>①購入数(枚数/人・年) 2005年度比25%削減 (2005年度購入数10,286枚)</p> <p>②2009年度グリーン購入率 ・ファイル 95% ・筆記用具 70% ・紙製品 85%</p>
<p>地球温暖化防止</p> 	<p>①CO₂の排出量の削減</p>	<p>①CO₂の排出量調査件数10件</p>
<p>建設副産物の3R推進</p> 	<p>①現場のゼロミッションを達成する</p>	<p>①達成現場22件</p>
<p>水質汚染の防止</p> 	<p>①油類を漏洩させない</p>	<p>①油流出事故0件</p>
<p>環境配慮開発・設計・施工の実施</p> 	<p>①土壤修復技術の展開</p> <p>②顧客への環境にやさしい企画・設計の提案</p> <p>③環境配慮設計の実施</p> <p>④環境に考慮した工法の採用</p>	<p>①土壤汚染対策の実施件数6件以上 (2008年から日常管理に移行)</p> <p>②企画・設計提案件数20件 採用率58% (2009年から日常管理に移行)</p> <p>③環境配慮型設計手順書の維持試行1件</p> <p>④工法の採用件数5件</p>



目 標		結 果	
2008	2009	2008	2009
①2005 年度比 20%削減 ②グリーン購入率 ・ファイル 95% ・筆記用具 70% ・紙製品 80%	①2005 年度比 25%削減 ②2009 年度グリーン購入率 ・ファイル 95% ・筆記用具 70% ・紙製品 85%	①2005 年度比 18.7%削減 (2008 年度購入数 8,363 枚) ②グリーン購入率 ・ファイル 100% ・筆記用具 100% ・紙製品 100%	①2005 年度比 29.8%削減 (2009 年度購入数 7,221 枚) ②グリーン購入率 ・ファイル 100% ・筆記用具 100% ・紙製品 100%
①CO ₂ の排出量調査件数10件	①CO ₂ の排出量調査件数10件	①CO ₂ の排出量調査件数14件	①CO ₂ の排出量調査件数6件
①達成現場 11 件 ②混合廃棄物の削減 2005 比 20% (混合廃棄物量 t/施工高(億円))	①達成現場 22 件 ②—	①達成現場 13 件 ②2005 比 10%増	①達成現場 18 件 ②—
①油流出事故 0 件	①油流出事故 0 件	①油流出事故 0 件	①油流出事故 0 件
①— ②企画・設計提 ・案件数 18 件 ・採用率 58% ③環境配慮型設計手順書の 維持試行 1 件 ④工法の採用件数 4 件	① — ② — ③環境配慮型設計手順書の 維持試行 1 件 ④工法の採用件数 5 件	①— ②企画・設計 ・提案件数 20 件 ・採用率 0% ③環境配慮型設計手順書の 維持試行 1 件 ④工法の採用件数 5 件	① — ② — ③環境配慮型設計手順書の 維持試行 1 件 ④工法の採用件数 6 件

環境保全

環境保全活動の効果

建設副産物の発生抑制、削減に関する方針

建設副産物の適正処理と建設公害の発生を防止するため、関係法令遵守と建設負荷の低減及び、リサイクルの推進を図る。また、ゼロエミッションモデル現場を設定し、ゼロエミッションを達成する

建設副産物の総排出量 : 41,072t

建設副産物の最終処分量 : 2,571t

【2008年度】 排出量内訳	
コンクリートがら	33,060 t
アスコンがら	6,849 t
建設汚泥	4,083 t
木くず	4,037 t
がれき類	209 t
金属くず	42 t
その他	1,876 t

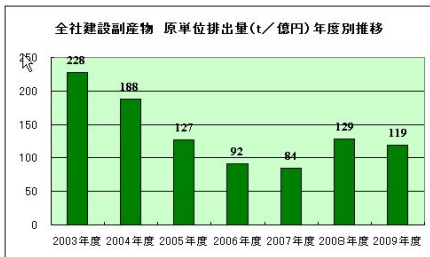
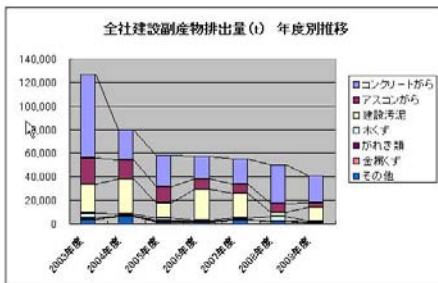
【2009年度】 排出量内訳	
コンクリートがら	22,814 t
アスコンがら	4,086 t
建設汚泥	11,811 t
木くず	850 t
がれき類	530 t
金属くず	48 t
その他	935 t

【2008年度】 最終処分量内訳	
コンクリートがら	0 t
アスコンがら	0 t
建設汚泥	1,228 t
木くず	49 t
がれき類	10 t
金属くず	1 t
その他	594 t

【2008年度】 リサイクル率内訳	
コンクリートがら	100.0%
アスコンがら	100.0%
建設汚泥	89.0%
木くず	98.4%
がれき類	95.2%
金属くず	98.0%
その他	68.0%

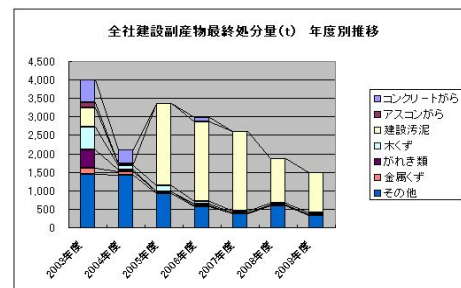
原単位当り排出量129 t/億円

原単位当り排出量119 t/億円

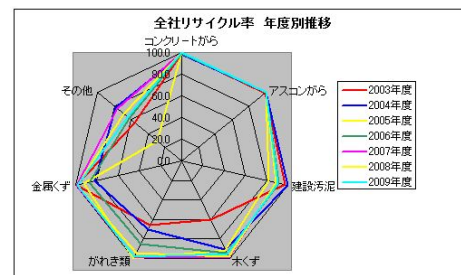


【2009年度】 最終処分量内訳	
コンクリートがら	0 t
アスコンがら	0 t
建設汚泥	1,086 t
木くず	49 t
がれき類	8 t
金属くず	1 t
その他	341 t

【2009年度】 リサイクル率内訳	
コンクリートがら	100.0%
アスコンがら	100.0%
建設汚泥	90.8%
木くず	96.1%
がれき類	98.5%
金属くず	98.2%
その他	64.0%



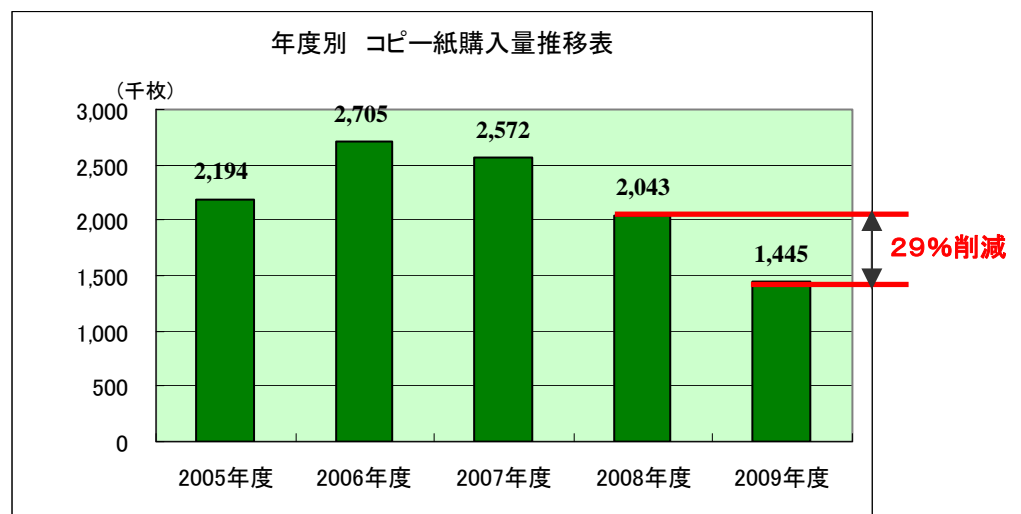
今後も継続して、3R の推進とゼロエミッションを推進し、環境負荷の低減に努めます。





オフィスでのコピー用紙購入量の推移

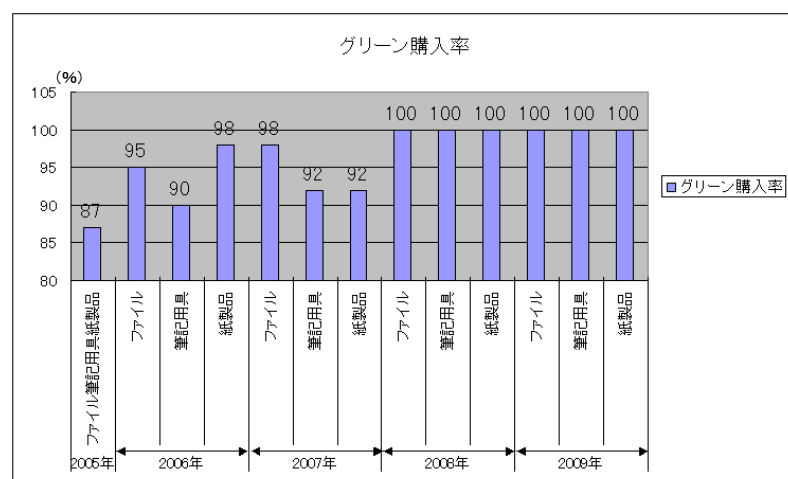
コピー用紙は、2006 年度にピークを迎え、2007 年度から減少し、2009 年度は前年比で 29%削減しました。今後もコピー用紙の裏面利用、社内 LAN、イントラネット、電子メールの利用推進により、更なる削減に努めます。



グリーン購入率の推移

グリーン購入の目的は、購入の必要性を十分に考慮し、品質や価格だけでなく環境の事を考え、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入することです。

当社はグリーン購入の対象品をグリーン購入法適合商品(最優先)、エコマーク、グリーンマーク、再生紙使用マーク等がついた商品と定めています。対象品のグリーン購入率は2008 年度から100%になりました。今後も全社でグリーン購入活動を展開しグリーン購入率100%を維持します。



社会貢献

ボランティア活動

【東京都】 日本橋川清掃

地元有志により2ヶ月に1回、日本橋川を清掃しています。第1回は2008年4月、日本橋で活動している団体や個人の有志を中心に始めました。中央区や千代田区、東京都などの行政の方にもご協力をいただいております。

清掃範囲は、日本橋川全域であり川面に浮かぶゴミだけでなく、干潮時には、川側からでなければ入れない浅瀬にも上陸し、長年放置されている鉄くずやタイヤなどの回収も行っています。

回を追うごとに参加者も増え、第3回からは千代田区側の有志の方が参加されるようになりました。今後も地域連携の輪を広げ、力を合わせて活動を進めていきたいと考えています。(2009年4月3日)



日本橋の下も清掃しています

【東京都】 豊洲北小学校 現場体験学習会

東京都江東区の豊洲北小学校増築工事作業所において、豊洲北小学校の生徒(6年生)を対象とした現場体験学習会を実施しました。高所作業車やミニ油圧ショベルの操作を体験し、普段の授業では学べない貴重な体験を提供しました。

(2009年7月10日)



振動ローラーにも同乗



江東区報の掲載



【愛知県】
中部クリーンアップ作戦

名古屋みなと建設工事安全連絡協議会主催の「2009 名古屋みなとクリーンアップ作戦」に参加し、愛知県知多市の新舞子海岸の清掃に協力しました。

当日は、500 人が参加して海岸に漂着したゴミを撤去し、もとのきれいな浜辺に戻りました。(2009 年 4 月 19 日)



知多市民と清掃協力



【愛知県】
海辺を守ろう「ビーチ・ライフ・in新舞子」

日本ビーチ文化振興協会が主催する「第 4 回ビーチライフ in 新舞子」(ビーチクリーン活動“海辺を守ろう！運動”)に参加し、愛知県知多市の新舞子海岸の清掃活動やカストの綱引き等のイベントに協力しました。

その活動に対して、日本ビーチ文化振興協会から感謝状を頂きました。

(2009 年 4 月 26 日)



おすもうさんと知多っ子のイベント



社会貢献

ボランティア活動

【愛知県】鬼崎海岸 クリーンアップ作戦

名古屋みなと建設工事安全連絡協議会主催の「2009 秋季ビーチとクリーンアップ作戦」に参加し、愛知県常滑市の鬼崎海岸の清掃に協力しました。当日は、協議会関係者や地元建設業者等 520 人が参加して海岸に漂着した流木などのゴミを集めました。
(2009 年 11 月 1 日)



【愛知県】名古屋港 清掃活動

当社は永年にわたり、名古屋港内の清掃奉仕活動に参加し、美化運動に積極的に貢献したことに対して、国土交通省中部地方整備局 名古屋港湾事務所長から表彰されました。



名古屋港湾事務所長より表彰

【京都府】巨椋池 (おぐらいけ)干拓地 植栽・クリーン活動

巨椋池干拓地の東端、近鉄線路沿いの農道約600m(西宇治公園周辺～排水幹線水路)において、クリーン活動を実施しました。1時間弱の活動で右の写真のとおりゴミが集まりましたが、それでもまだすべては拾いきれていない状況に、改めて干拓地のゴミの多さを痛感しました。
(2010 年 3 月 14 日)



干拓地のゴミ収集の様子

【新潟】南魚沼市石打 クリーン活動

北陸地方整備局長岡国道事務所湯沢維持出張所管内の湯沢地区安全協議会が主催した清掃活動に参加し、南魚沼市石内地区の国道 353 号及び湯沢町湯沢 17 号沿いの清掃に協力しました。

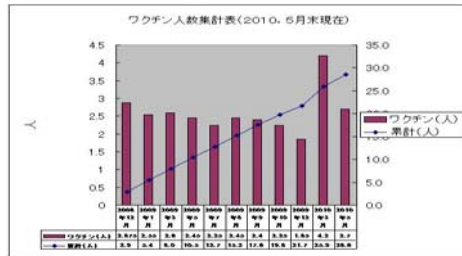


国道沿いの清掃



【東京都】 本社「エコキャップ運動」参加

本社ではペットボトルのキャップを回収し、「NPO 法人エコキャップ推進協会」に寄贈する活動を 2008 年 11 月より進めています。寄贈したキャップは世界の発展途上国の子供たちのワクチン購入に役立てられます。提供したワクチンは活動を始めてから 2009 年度までに 28 人分となりました。また、ゴミとして焼却処分されないため CO2 (6.3kg/800 個) の発生も削減できます。



ワクチン人数集計表



エコキャップ回収ボックス

【新潟県】工事現場に AED 設置

新潟港(東港地区)西防波堤改良工事(その2)において、現場休憩所に AED (自動体外式除細動器)を設置し、不測の事態に迅速に対応できる体制をつくりました。また、第三者に利用して頂くために、設置現場であることを明示する看板を設置しました。幸いに工事期間中に AED を使用することはありませんでした。



AED 設置現場の掲示版

【新潟県】工事現場で「海洋汚染防止」活動

新潟港(東港地区)西防波堤改良工事(その2)において、ゴミを海上に捨てないために注意看板を設置し、海洋汚染の防止に努めました。



海洋汚染防止の掲示版

安全教育

教育活動

自動膨張式救命胴衣 点検・実施訓練

当社は港湾工事が多く、作業中は自動膨張式救命胴衣を着用しています。自動膨張式救命胴衣は、誤って海上等に落下した場合に自動膨張し、命を守る重要な保護具です。当社の社員と協力業者の職長を対象に自動膨張式救命胴衣製造メーカーの講師により、大阪支店、九州支店において実習を行いました。参加者は当社(10名)、協力業者(4名)であり、実習内容は自動膨張式救命胴衣の点検とポンベの取替の実施訓練でした。



実習風景(大阪)



実習風景(九州)

低圧電気取扱安全 衛生特別教育

当社がリースした移動用発電機(10KW以上)は、当社が定めた保安規程に従い、管理しています。

当社の社員と協力業者の職長を対象に、電気保安協会の講師による「低圧電気取扱者特別教育講習会(1日)」を東京地区、大阪地区、九州地区において実施致しました。社員と協力業者を合わせて参加者は102名であり、教育内容は、午前中が「低圧の電気に関する基礎知識」、午後は「低圧開閉器の操作方法」の実習を行いました。

低圧講習会受講者一覧表

番号	年月日	受講者数	対象組織	備考
1	2009/4/21	17	東日本土木本店・建築本店・MF事業部	関東電気保安協会
2	2009/5/12	17	"	"
3	2009/5/15	17	中部支店・大阪支店	関西電気保安協会
4	2009/6/3	10	九州支店	九州電気保安協会
5	2009/6/3	21	中部支店・大阪支店	関西電気保安協会
6	2009/6/5	12	東日本土木本店・建築本店・MF事業部	関東電気保安協会
7	2009/6/5	8	九州支店	九州電気保安協会
合計		102		



1日講習会の様子(東京)



【福島県】工場視察会

当社は、安全水準の向上に資する研究・学習の一環として(社)日本埋立浚渫協会が主催する視察会に参加しています。

今年度は、西日本本店が福島県田村市にある救命胴衣メーカー(藤倉航装(株))の船引工場を訪問し、膨張式救命胴衣の製作工程や製品検査を見学しました。製作工程を確認することで膨張式救命胴衣の構造が理解でき、今後の膨張式救命胴衣の使用に関する指導に大いに役立ちました。(2009年11月)



工場全景(藤倉航装(株)船引工場)

【神奈川県】港湾工事 安全衛生環境研修会

当社は、労働災害防止に対する社会的要請が高まっており、特に官公庁発注の工事に携わる社員を対象に(社)日本埋立浚渫協会関東支部が主催する研修会に多数参加しています。

今年度は、国土交通省の講師による「港湾工事の事故防止に向けて」、「港則法及び海上交通安全法の一部改正の概要等について」のテーマで講義がありました。

また、(社)日本埋立浚渫協会関東支部の安全委員による「救命胴衣の安全点検」の講義があり、港湾工事の多い当社の社員にとって貴重な研修会でした。

(2009年12月)



研修会の様子(横浜)



社会活動

本業を通じた活動

【東京都】

東京国際空港 D 滑走路建設外工事（羽田再拡張事業）

本事業は、新たな 4 本目の滑走路(D 滑走路)を整備し、年間の発着能力を現在の約 30 万回から約 41 万回に増強し、発着容量の制約解消および多様な路線網の形成により、多頻度化による利用者利便の向上を図るとともに、将来の国内航空需要に対応した発着枠を確保しつつ国際定期便の受入を可能とするものです。

当社は羽田 15 社 JV の一員として 2007 年 3 月に施工を開始し、供用中の空港直近のため様々な航空制限を受けるなか、24 時間 365 日稼働し 2010 年 9 月に竣工しました。



羽田D滑走路 2010年9月 「提供:羽田再拡張D滑走路JV」

【東京都】

(仮称)麻布十番 3 丁目計画新築工事

壁面を緑化することで、周辺の気温上昇を抑制し、ヒートアイランド現象を緩和する効果があります。また、壁面に緑を設けることで、歩行者にも落ち着きを与えます。給水方法として、専用の自動灌水装置をタイマー制御することにより自動化となっています。植栽は北面に面しても枯れにくいリュウノヒゲとヘデラヘリックスを使用しています。



壁面の植栽

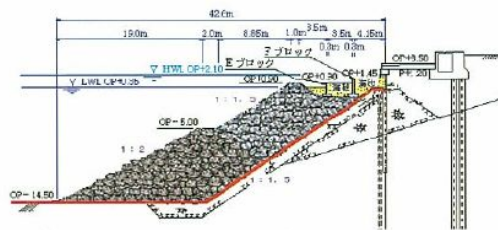


【大阪府】
生物共生型護岸工事

当社は大阪府泉北郡において、「堺泉北港堺2区生物共生型護岸築造工事」を施工しました。この工事は「潮彩の渚」と呼ばれ、地震に強い港湾施設と海の生物が共存できる構造になっています。

当社の施工区域は、「魚礁ブロックタイプ」、「干潟タイプ」、「捨石傾斜タイプ」であり、良好な自然環境の保全及び新たな環境創造を積極的に図ることができます。

また、魚礁ブロックの設置により付着動物・藻類及び魚類が数多く集まり、防波堤全体が餌場や生育の場として機能します。



3.堺泉北港堺2区(捨石緩傾斜・干潟・魚礁ブロックの3タイプを整備)



魚礁ブロックタイプ

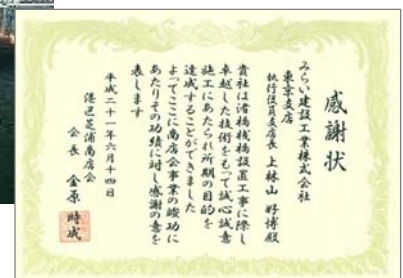
【東京都】
渚橋棧橋設置工事

当社は東京都港区において、「渚橋棧橋設置工事」を施工しました。この工事は芝浦西運河渚橋付近に浮き棧橋を整備することで、運河利用の機会を提供することにより、地域コミュニティの参加意識を高めて地域の活性化を図ることが目的です。

2010年6月に供用開始のセレモニーが開かれて、当社は港区芝浦商店会より、感謝状を授与されました。



浮き棧橋全景



環境技術

採用された工法

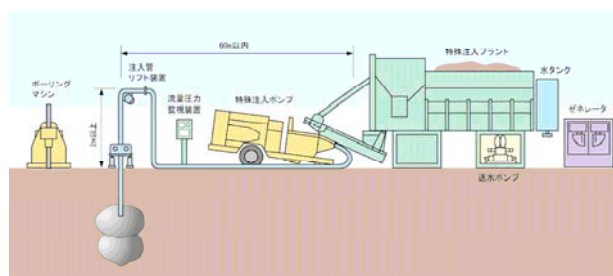
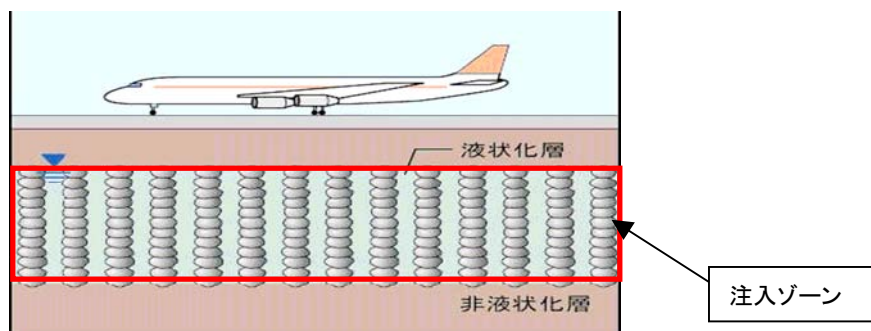
【CPG工法】

東京国際空港東側C1誘導路地盤改良工事

CPG工法は、極めて流動性の低いモルタルを振動や衝撃を全くあたえずに地盤中に圧入する静的圧入締固め技術です。圧入されたモルタルは、その低い流動性ゆえに迷走することなく所定の位置に固結体を造成します。この固結体の体積増加が周辺地盤を圧縮し、密度を増大させます。

【特徴】

1. 設備がコンパクトなため、作業空間に制限がある場所での施工が可能である。
2. 無振動、低騒音、低変位にて地盤を締固めることができる。
3. 外径約 70mm のロッドによるボーリング削孔のため、改良対象地盤の上部に硬い地盤が存在する場合の施工が可能である。また、削孔径が小さいため、供用中の舗装面等の早期復旧が容易である。
4. 打設間隔や注入量を変更することにより、改良率を変更できる。



ボーリング削孔状況



注入管理状況

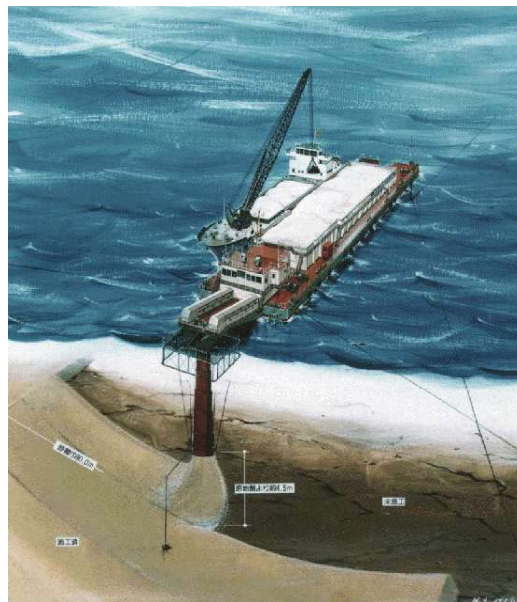
【コンベアバージ砂撒き・薄層履砂工法】

平成21年度水産基盤整備実証調査工事

コンベアバージは、ホッパーにストックされた敷砂材を船内のベルトコンベアーにより船首まで運搬し、2重トレミー管を用いて自然沈降状態で海底撒布を行う砂捲船です。

【特徴】

1. 排出量をホッパーゲートの開閉操作により制御し、かつ船体を一定の角度と速度でスイングさせることによって、水深-6～-20m までの海域において任意の厚みをもった均一な敷砂層を形成できる。
2. 砂撒きの最低厚さは 15cm と薄層での施工が可能である。
3. 圧力を加えず自然沈降状態で砂撒きするため、水搬工法などに比べて海底地盤を乱しにくい。
4. 2重トレミー管の採用により、水質汚濁を低減させることができる。



ご意見やお問合せ先

〒105-0014
東京都港区芝二丁目 14 番 5 号
安全環境品証部
TEL: 03-6436-3716
FAX: 03-6436-3736

 **みらい建設工業株式会社**